

第5回 きこえの懇談会

『聴覚障害があっても自分らしく働き、生きるために第一歩
～きこえをどう説明し、周りの理解を得ますか～』

日 時： 2025年2月15日（土） 10:00～16:00（9:30 受付開始）

会 場： 奈良県社会福祉総合センター 5階 研修室B・C

住 所： 奈良県橿原市大久保町320番11

参加費： 無料

定 員： 会場参加：100人

サテライト会場参加：近畿地域の難聴者団体の定める人数による

リモートによる近畿地域の難聴者団体との中継（サテライト会場）もあり、個人の参加も歓迎します。

参加費無料

10:00～10:15 開会あいさつ・連絡事項、これまでの振り返り

10:15～10:55 第1部 当事者による事例発表

11:00～12:00 第2部 取組事例の紹介～堀場製作所～

[休憩]

13:15～14:55 第3部 パネルディスカッション

パネリスト：第1部、2部の登壇者、言語聴覚士、行政

15:00～15:30 交流（質疑応答・感想や気づきの共有）

オンライン参加者からも懇談会に参加できるような方法を検討中

15:30～15:45 まとめ 閉会あいさつ・次回開催予告・お知らせ等

申し込み締め切り 2025年2月5日（水）

裏面に続く

【きこえの懇談会の目的】

中途失聴・難聴者の社会福祉向上を目指した“きこえ”に関するテーマについて、当事者はもちろんのこと、専門家や関心を持つ人が集まり、情報交換や議論を行う場です。

第5回は、「聴覚障害があっても自分らしく働き、生きるための第一歩～きこえをどう説明し、周りの理解を得ますか～」をテーマに、第1部では当事者の事例報告として、中等度難聴者によるきこえのカミングアウト方法と周囲の理解の現状から、ありたい姿への問いかけを行います。第2部では、合理的配慮における好事例の事業所の取り組みを紹介いただき、課題解決への取り組みや工夫を学びます。第3部はパネルディスカッションを行い、福祉行政の方や支援の専門分野である言語聴覚士の方から、合理的配慮の具体例や支援策等の情報提供、およびご助言などをいただきます。



最寄り駅 近鉄畝傍御陵前駅（東出口）より徒歩3分

奈良県社会福祉総合センター

〒634-0061 奈良県橿原市大久保町320番11

<https://www.narafukushi.com/access>

【事前アンケート用QRコード】

参加の有無に関わらず、
事前アンケートにご協力
をお願いします！
QRコードを読み取ってご
回答下さい。読み取りが
難しい方はきこえの懇談
会Eメール（申し込み用の
メールと同じ）にご連絡
下さい。



ホームページで情報を発信しています

<https://sites.google.com/view/kikoe-kondan>



【参加方法】

- ①現地参加
- ②サテライト会場
(責任者のメールアドレス記載)
参加人数の報告もお願いいたします
- ③ZOOM参加 (メールアドレス記載)

締め切り 2025年2月5日(水)

主催：全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（全難聴）

全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（全難聴）近畿ブロック協議会

協力：軽・中度難聴者グループ「かものはし」

全国要約筆記問題研究会奈良支部

後援：奈良県

橿原市

（一社）日本言語聴覚士協会